

# 日本政治学会 会報

The JPSSA News

No. 33

MAY, 1997

## IPSAの虜に

蒲島郁夫

今年の8月17日から21日まで世界政治学会（IPSSA）がソウルで開催されます。ご存じのようにIPSSAの世界大会は3年に一度の割合で開催されていますが、私が最初に参加したのは1985年のパリ大会です。パリでの思い出は、初めての国際学会での発表に緊張したこと、シラク・パリ市長（現仏大統領）が各国の政治学者を前に大演説をぶったこと、同市長ふるまいのワインとチーズが一瞬のうちに無くなったこと、京大の村松岐夫先生達と美味しいレストランを求めてパリ市内を歩き回ったことです。それ以来、IPSSA独特の学問的緊張感と非学問的楽しみに惹かれて、91年のブエノスアイレス大会、94年のベルリン大会に出席しました。日本政治学会の会員のなかに、多くのIPSSAの常連がいるのは、私と同じようにその魅力の虜になっているからに違いありません。

今回のIPSSAのメイン・テーマは「紛争と秩序（Conflict and Order）」です。この主題は現実の政治の関心事であるとともに、政治学の永遠のテーマでもあります。ソウルでは、このテーマに沿った分科会が47、その他の分科会が224予定されています。IPSSAでは多くの分科会が設けられているので、参加者はプログラムを手に、気に入った分科会を梯子せざるを得ません。プログラムに記載されていても、会場に司会者も報告者も現れないことがたまにあります。その場合は、「きっと旅費が調達できなかったに違いない」と妙に納得して、次の会場に向かいます。

IPSSAに参加するのは楽しいけれども、これまでは開催国が遠方すぎて旅費がかさむことには閉口していました。ところが、今回はお隣の韓国で、それも夏休みに開催されます。旅行社で確かめたところ、この時期ソウル・成田間のディスカウント往復運賃は5万円前後とのことです。IPSSAを体験する絶好の機会だと言えます。会議の

ホストを務める、韓国政治学会の崔相龍会長からも、佐々木毅理事長宛に、日本からの参加を求めるといったようなメッセージが届いています。

「…私は、1965年から1972年まで日本で勉強し、多くの日本の政治学者と友人になることができました。つきましては、先生を始めとして、日本政治学会のできるだけ多くの会員の皆様方が積極的に本会議にご参加していただくことができますよう、お願い申し上げます。日本からの多くの参加が、会議の大成功につながることに思われますので、ぜひとも積極的な参加を会員の方々へ呼びかけていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。ソウル世界政治学会のテーマ：「紛争と秩序（Conflict and Order）」は韓半島の紛争を平和的に解決するために、韓国が必要としているものと合致しているように思われます。この会議が、私たち韓国人にとって、韓半島の平和的統一を達成するための、多くの理論的かつ実践的示唆を提供していただける機会になればと願っております。…先生およびその他会員の皆様方とソウルでお会いできるのを心待ちにしております。」

今年の夏はソウルに行って、あなたもIPSSAの虜になってみたらいかがでしょうか。

### 連絡先

Local Organizing Committee of IPSSA

Dept. of Political Science

Yonsei University

Seoul 120-749 Korea

Tel: 82-2-361-4499

Fax: 82-2-393-0126

E-mail: ipsa97@bubble.yonsei.ac.kr

http: www.yonsei.ac.kr/ipsa97/index.html

1997年度 日本政治学会研究会プログラム

10月4日(土)

**共通論題A デモクラシーの現在と未来**  
—日本型民主主義の現状と展望

司会 北岡 伸一(立教大学)  
報告 猪口 孝(東京大学) 日本型民主主義の  
変容と深化  
山口 二郎(北海道大学) 中央政治におけ  
る日本型民主主義  
福井 治弘(筑波大学) 地方政治における  
日本型民主主義

討論 加藤 哲郎(一橋大学)  
杉田 敦(法政大学)

**分科会A 政治思想史のヴィジョンと方法**  
—丸山思想史学をめぐる

司会 小野 紀明(京都大学)  
報告 飯田 泰三(法政大学) 日本政治思想史の  
観点から  
加藤 節(成蹊大学) 西欧政治思想史の  
観点から

討論 渡辺 浩(東京大学)  
齋藤 純一(横浜国立大学)

**分科会B ポスト新保守主義時代の政治**

司会 梅津 實(同志社大学)  
報告 豊永 郁子(九州大学) サッチャリズムの  
遺産と政党再編成  
小池 治(茨城大学) アメリカの新保守  
主義とグラスルーツ  
渡邊 啓貴(東京外国語大学) シラク政権  
下の自由主義的改革

討論 阪野 智一(神戸大学)

**分科会C 日本の選挙**

司会 神江 伸介(香川大学)  
報告 永山 正男(鳥取大学) 小選挙制の過去と  
現在  
谷 聖美(岡山大学) 新選挙制度下の総  
選挙と政党配置の変化  
武重 雅文(香川大学) 新選挙制度下の総  
選挙における選挙報道

討論 阿部 四郎(東北大学)

**分科会D アジア政治の諸相**  
—アジアにおける人権

司会 萩原 宜之(獨協大学)  
報告 大沼 保昭(東京大学) 人権概念の再構成—  
東と西の統合  
毛里 和子(横浜国立大学) 中国における人  
権  
鈴木 佑司(法政大学) 東南アジアにおけ  
る人権状況

討論 山田 辰雄(慶應義塾大学)

**分科会E ポスト福祉国家時代の市民社会と国家**

司会 松本 礼二(早稲田大学)  
報告 森 政稔(東京大学) リベラリズムの理  
論史における市民社会と国家  
岡本 仁宏(関西学院大学) 市民社会論の  
新展開  
住沢 博紀(日本女子大学) 福祉国家論の  
新展開

討論 進藤 兵(名古屋大学)

**分科会F 国際研究交流特別分科会**

司会 大嶽 秀夫(京都大学)  
報告 ケント・ジェニングス(カリフォルニア大  
学サンタバーバラ校)  
ピーター・カツェンスタイン(コーネル  
大学)

討論 西澤 由隆(同志社大学)  
辻中 豊(筑波大学)

# 学 会 ニ ュ ー ス

10月5日(日)

## 共通論題B 国際秩序と国際地域秩序

司会 五百旗頭真

報告 恒川 恵市(東京大学) 地域的経済統合の  
現状と展望

岩崎美紀子(筑波大学) 連邦制における統  
合と自治

遠藤 誠治(成蹊大学) 世界システムの変  
動と地域主義

討論 北住 炯一(名古屋大学)

中西 寛(京都大学)

## 分科会G 20世紀の政治思想とナショナリズム

司会 亀嶋 庸一(成蹊大学)

報告 岩崎 稔(東京外国語大学) ナショナリ  
ズムと歴史構成主義

堤林 剣(国連大学) デモクラシーの変  
容とナショナリズムの作用

鈴木 規夫(長野県立短期大学) サイード  
におけるオリエンタリズム批判  
の<起源>-アラブ・ナショナ  
リズムからイスラミック・ファ  
ンダメンタリズムへ

討論 李 静和(成蹊大学)

## 分科会H 「政党-社会」関係の変容

司会 砂田 一郎(学習院大学)

報告 蒲島 郁夫(東京大学) 日本における「政  
党-社会」関係の変容

富崎 隆(清和大学) イギリスにおける  
「政党-社会」関係の変容

岸川 毅(上智大学) メキシコにおける  
「政党-社会」関係の変容

討論 吉野 孝(早稲田大学)

## 分科会I 地方制度改革の比較研究

司会 寄本 勝美

報告 大山 礼子(聖学院大学) フランスの地方  
制度改革

大杉 覚(成城大学) 日本の地方制度改  
革

孫 熙斗(韓世政策研究院) 韓国の地方  
制度改革

討論 竹下 譲(神奈川大学)

秋月 謙吾(京都大学)

## 分科会J 戦前期日本の民主主義運動

司会 寺崎 修(慶應義塾大学)

報告 米原 謙(大阪大学) 自由民権運動の再  
評価

玉井 清(慶應義塾大学) 大正デモクラ  
シーと政党政治

坂野 潤治(東京大学) 昭和デモクラシー

討論 富田 信男(明治大学)

## 分科会K 多文化主義と政治社会

司会 阿部 斉(放送大学)

報告 辻内 鏡人(一橋大学) アメリカ合衆国の  
多文化主義と統合

石川 一雄(専修大学) カナダの多文化主  
義と政治統合

分田 順子(福岡教育大学) 北アイルラン  
ドにおける統合教育隘路

討論 古矢 旬(北海道大学)

## 分科会L 自由討論

司会 河野 武司(杏林大学)

報告 谷 勝宏(名城大学) 議員立法の機能化  
へのアプローチ

岩崎 正洋(杏林大学) 政治制度と民主主  
義

大川 正彦(東京国際大学) 再配分の政治  
と承認の政治

イザンベール真美(東海大学) 革命研究の  
理論

討論 岩渕 美克(日本大学)

桐谷 仁(静岡大学)

## 1996年度 第5回理事会記録

日時 1996年12月7日(土)午後1時から2時まで  
場所 愛染倉(京都市北区)

1996年度第5回理事会では、以下の事項が報告・協議された。

### 1. 各委員会報告

#### (1) 企画委員会

小林委員長より、97年度研究会における自由論題の企画を12月20日締め切りで公募したことが報告された。また国際交流関係の企画に関して、海外から招聘する研究者の人选は大嶽国際交流委員長に一任し、国内の研究者の人选は国際交流委員会と連絡を取りながら、企画委員会で行う方針であることが報告された。

#### (2) 年報委員会

五百旗頭97年度年報委員長より、97年度年報の公募論文については、12月22日の年報委員会でレフェリーを選任する段取りとなっていることが報告された。

北岡98年度年報委員長(欠席のため、五百旗頭理事が代読)より、年報委員として、楠精一郎(東洋英和女子大学)、酒井哲哉(東京大学)、坂本多加雄(学習院大学)、松田宏一郎(立教大学)、溝部英章(京都産業大学)の各会員を選任した旨の報告があり、また「日本外交におけるアジア主義」というテーマで科学研究費(坂本多加雄会員が代表)に応募したことが報告された。

#### (3) 文献委員会

北住97年度委員長(欠席のため、馬場常務理事が代読)より、文献委員として阿南東也(愛知県立大学)、岡本仁宏(関西学院大学)、小野耕二(名古屋大学)、河合恒生(岐阜経済大学)、川崎信文(広島大学)、川田稔(名古屋大学)、定形衛(金沢大学)、高橋進(龍谷大学)、坪郷實(早稲田大学)、西川洋(三重大学)、肥田進(名城大学)、平野浩(愛知県立大学)、広瀬崇子(大東文化大学)、文京珠(立命館大学)の各会員を選任した旨の報告があった。今後の予定としては2月16日に文献委員会を開いて分担・調整をはかる方針であることが報告された。

#### (4) 国際交流委員会

大嶽委員長より、現在ECPRとの合同研究会を開催中であり、次年度の研究期間終結までに成果を出すべくつとめていること、第二ラウンドについて、杉田敦(法政大学)会員を中心に政治思想の分野で欧州諸国と交流を行う方針で、来年秋に打ち合わせを行う予定であることが報告された。

韓国との交流に関しては、中野実(明治学院大学)会員を中心に準備を進める体制となったことが報告された。

アメリカ政治学会との交流に関しては、田中愛治(青山学院大学)会員が引き続き担当するとともに、辻中豊(筑波大学)会員が加わるようになったことと、97年度の研究会に招聘する研究者の人选がすすんでいることが報告された。

#### (5) 選挙管理委員会

的場委員長より、委員として伊藤之雄(京都大学)、佐藤満(立命館大学)、松並潤(大阪学院大学)、村山皓(立命館大学)、森本哲郎(奈良産業大学)、力久昌幸(北九州大学)を選任し、もう一名の追加を考えていることと、日程については明年の4月19日に第1回の選挙管理委員会を開催して方針を決めるとともに、7月12日の第2回委員会で開票を行う日程を予定していることが報告され、承認された。

### 2. 五十周年記念事業の件

佐々木理事長から、1998年の秋にあたる学会創立五十周年記念事業について、五百旗頭理事(神戸大学)を委員長とし、総会開催校(同志社大学)の梅津理事を含む特別委員会を発足させることが提案され、承認された。

### 3. 学術会議に関する件

馬場常務理事から、日本学術会議の会員候補者選定と推薦人指名に関して説明があり、佐々木理事長より会員候補者の選出に関わる選挙管理委員会を、馬場常務理事、藤本理事、本田理事の3名によって構成し、来年1月までに選挙を行うことが提案され、承認された。その際、推薦人の枠が前回の5名から3名に減ったこと

が報告され、状況をさらに調査することとした。  
4. 新入会員承認の件

下記の10名の入会が承認された。

秋丸武彦、石田淳、犬塚元、梶田孝道、川島耕司、北川誠一郎、小久保康之、中悟、矢田部順二、渡辺守雄

5. 年報発送の件

95年度年報に関して事務局より、売れ行きが好調であったために、発売元品切れとなり、現状では会費滞納者が95年度分の会費を納入しても、それに対して95年度年報を発送できない状況になっていることが報告された。この問題について若干の議論が行われ、96年度年報の発送に関して、発売時の会員全員に発送し、滞納者には会費納入を別途督促する方法をとることが

事務局より提案され、承認された。また95年度年報の発送に関しては、岩波書店に増刷を求めるが、合意が得られなければ、年報定価相当の3,800円を返金することも含めて、理事長に判断を一任することが承認された。

6. 事務局報告

馬場常務理事より10月19日に、京都大学から東京大学への事務局引継を行ったこと、11月に会費滞納者への督促を行ったことが報告された。また会報発送に問題が生じていることなどを考慮して、事務の簡素化に関わる処置を考えていることが報告された。

7. 次回理事会の日程の件

次回理事会を1997年3月22日(土)に東京大学法学部で開催することが承認された。

## 1996年度 第6回理事会議事録

日時 1997年3月22日(土)午後1時から3時まで  
場所 東京大学法学部852会議室

1996年度第6回理事会では、以下の事項が報告・協議された。

1. 各委員会報告

(1) 企画委員会

小林委員長より、97年度研究会における共通論題・分科会テーマ(仮題)、司会、報告、討論予定者を決定した旨報告された。分科会については、思想関係を1増し、自由論題分科会を設置。自由論題については応募12件のうち4件を採用、2件を他分科会に組み入れた旨報告された。

大嶽国際交流委員長(欠席のため、小林企画委員長が代読)より、国際研究交流特別分科会について、報告者はケント・ジェニングス、ピーター・カツェンスタインの両氏、討論者は西澤由隆(同志社大学)、辻中豊(筑波大学)の各会員に確定された旨報告された。

(2) 年報委員会

五百箇頭97年度年報委員長より、97年度年報の公募論文のうち2件を採択・1件を留保とした旨、また第1テーマの「70年代の日本外交」と同研究成果に基づく7ないし8論文を確定した旨報告された。

北岡98年度年報委員長より、第1テーマの「アジア主義」に対し若干・第2テーマの「日本政党史の諸関係」に対し数件の題目届が提出されている(締切は月末)旨報告された。

加茂99年度年報委員長(欠席のため、馬場常務理事が代読)より、特集テーマとして「20世紀の政治像/政治学」等を考慮中であること、年報委員については6月理事会までに委嘱する予定であること、学会創立50周年記念国際シンポジウムが開催された場合には同記録の掲載を検討することが報告された。

(3) 文献委員会

北住97年度委員長より、242名・424件の業績申告があった旨報告された。また2月16日に文献委員会を開催し、学界展望の執筆基本方針・執筆要綱・分野別行数割り当てを検討・調整したこと、申告業績の分類分野を調整したこと、7月4日原稿締切・8月末初校・10月再校の予定であることが報告された。

(4) 国際交流委員会

大嶽委員長(欠席のため、馬場常務理事が代読)より、ECPRとの交流の一環である政治哲学共同研究プロジェクトおよびアメリカ政治学会への各1名の派遣に際し、場合によっては旅費等の支出を理事会に要請したい旨申

し出があった。なお、ECPRとの政治哲学共同研究プロジェクトのメンバーは、杉田敦（法政大学）、千葉眞（国際基督教大学）、川崎修（北海道大学）、斎藤純一（横浜国立大学）、飯田文雄（神戸大学）の各会員である。

対アジア交流小委員会委員長中野実会員（馬場常務理事代読）より、3月3日小委員会にて構成員を中野実（明治学院大学）、村松岐夫（京都大学）、五十嵐暁郎（立教大学）、辻中豊（筑波大学）、坪郷実（早稲田大学）の各会員に決定し、韓国との共同研究プロジェクトに関し意見交換を行った旨報告された。

## (5) 選挙管理委員会

的場委員長（欠席のため、馬場常務理事が代読）より、北山俊哉（関西学院大学）会員を委員に追加した旨報告された。

## (6) 五十周年記念企画委員会

五百簾頭委員長より、2月に行った各理事に対するアンケートの結果、シンポジウム開催（「政治学会の回顧と展望」「民主主義」「官僚と政党」など）・出版（年報政治学総目次・学会展望の総括・各国の戦後政治学文献編集など）の提案があった旨報告された。加茂理事との打ち合わせの結果、募金活動を伴う大規模な事業は行わない、98年度研究会と一部重ね合わせる（金曜夕に記念講演・記念レセプション開催、土曜日に「戦後政治学の展開・発展」「20世紀の政治学」等の共通論題設定、日曜日に分科会）、出版については記念事業と切り離す（98年年報等で検討）、という構想が報告された。

## 2. 1996年度決算・監査の件

馬場常務理事より1996年度決算（案）の説明があり、続いて石田監事より会計監査の結果が報告され、審議の上決算案を承認した。

これに関連して、馬場常務理事より、前回12月理事会で理事長一任とされた、95年度年報の追加発送の件につき、岩波書店に150部増刷を依頼することとし、そのうち100部は既に会員に発送済みであり、残りが事務局引き取り分となっている旨の報告があった。

## 3. 1997年度予算の件

馬場常務理事より1997年度予算（案）の説明

がなされ、審議の上これを承認した。

## 4. IPSA分担金の件

佐々木理事長より、IPSA分担金変更につき、検討小委員会提案・本学会の対応・これに対するIPSA事務局長等の反応、等につき現状が報告された。

## 5. 学術会議に関する件

馬場常務理事より、1996年12月10～19日に会員候補選挙が行われ、開票の結果、村松岐夫・三谷太一郎の両顧問が当選した旨報告された。これに基づき、三谷顧問を学術会議会員候補者とし、野地・大西両理事と馬場常務理事を同推薦人として届け出た旨報告された。

関連して佐々木理事長より、学術会議会員候補者を三谷顧問一名に絞った理由について説明が行われた。

## 6. 新入会員承認の件

下記の14名の入会が承認された。

笠原英彦、花岡信昭、阿部温子、和達容子、宮岡勲、升信夫、横田匡紀、南山淳、福井治弘、小林良江、上田聡、山田薫、木下恵太、櫻井良樹

## 7. 事務局から（事務簡素化へ向けて）

馬場常務理事より、学会事務局の業務の総量が、既に現在の事務局体制の能力を大幅に超過した危機的な状況となっている点に鑑み、新入会手続きの際の会費払い込み方法の変更や、事務局日常業務の外部委託、事務局引継時期の再検討など、事務作業の簡素化へ向けて種々模索中である旨の報告があった。

このうち、新入会手続きの際、あらかじめ入会申込書の提出と同時に初年度会費の払い込み（預託）を求める方式への転換について、審議の結果、次回理事会で具体的な細目を検討する旨承認された。

## 8. 次回理事会の件

次回理事会を1997年6月14日13時から、東京・学士会館分館で開催することが承認された。

## 9. その他

佐々木理事長より、IPSA世界大会への参加要請が崔韓国政治学会会長より寄せられていること、次回理事会にて99年度総会・研究会開催校を提案したいとのアナウンスがあった。

# 学 会 ニ ュ ー ス

## 日本政治学会1996年度決算

### 〔一般会計〕

| 品 目          | 予算額        | 執行額        | 残 高       |
|--------------|------------|------------|-----------|
| 収入           |            |            |           |
| 1. 前年度繰越金    | 3,656,540  | 3,656,540  | 0         |
| 2. 会費収入      | 9,108,125  | 10,726,295 | 1,618,170 |
| 3. 雑収入       | 60,000     | 13,634     | △46,366   |
| 収入合計         | 12,824,665 | 14,396,469 | 1,571,804 |
| 支出           |            |            |           |
| 1. 研究会開催費    | 1,020,000  | 1,015,000  | 5,000     |
| A. 研究会準備金    | 970,000    | 970,000    | 0         |
| B. 報告者礼金     | 50,000     | 45,000     | 5,000     |
| 2. 委員会経費     | 780,000    | 780,000    | 0         |
| A. 年報委員会     | 210,000    | 210,000    | 0         |
| B. 企画委員会     | 210,000    | 210,000    | 0         |
| C. 文献委員会     | 190,000    | 190,000    | 0         |
| D. 国際交流委員会   | 170,000    | 170,000    | 0         |
| E. 選挙管理委員会   | 0          | 0          | 0         |
| 3. 理事会経費     | 100,000    | 81,038     | 18,962    |
| 4. IPSA学会分担金 | 200,000    | 195,190    | 4,810     |
| 5. 事務局経費     | 1,090,000  | 1,146,646  | △56,646   |
| A. 理事長通信費    | 100,000    | 100,000    | 0         |
| B. 運営費       | 60,000     | 60,000     | 0         |
| C. 人件費       | 600,000    | 600,000    | 0         |
| D. 経常費       | 330,000    | 386,646    | △56,646   |
| 6. 名簿作成積立金   | 450,000    | 450,000    | 0         |
| 7. 国際交流基金へ積立 | 400,000    | 400,000    | 0         |
| 8. 選挙管理費     | 0          | 0          | 0         |
| 9. 会報発行費     | 550,000    | 559,400    | △9,400    |
| 10. 年報会計への繰出 | 4,800,000  | 4,800,000  | 0         |
| 11. 予備費      | 3,434,665  | 139,460    | 3,295,205 |
| 支出合計         | 12,824,665 | 9,566,734  | 3,257,931 |
| 差引残高         | 0          | 4,829,735  | 4,829,735 |

### 一般会計資産

|          |           |
|----------|-----------|
| 現金       | 0         |
| 郵便振替口座   | 0         |
| 郵便貯金総合口座 | 3,082,357 |
| 三和銀行普通口座 | 1,747,378 |
| 計        | 4,829,735 |

### 〔別会計〕

#### 名簿作成積立金

|           |         |
|-----------|---------|
| 収入        |         |
| 1. 前年度繰越金 | 56,073  |
| 2. 本年度積立金 | 450,000 |
| 3. 利息     | 287     |
| 収入合計      | 506,360 |
| 支出        |         |
| 支出        | 0       |
| 差引残高      | 506,360 |

#### 国際交流基金

|           |            |
|-----------|------------|
| 収入        |            |
| 1. 前年度繰越金 | 20,612,573 |
| 2. 本年度積立金 | 400,000    |
| 3. 利息     | 57,950     |
| 収入合計      | 21,070,523 |
| 支出        |            |
| 支出        | 0          |
| 差引残高      | 21,070,523 |

#### 年報会計

|           |           |
|-----------|-----------|
| 収入        |           |
| 1. 前年度繰越金 | 3,720,657 |
| 2. 一般会計から | 4,800,000 |
| 3. 利息     | 21,382    |
| 収入合計      | 8,542,039 |
| 支出        |           |
| 支出        | 6,523,864 |
| 差引残高      | 2,018,175 |

# 学 会 ニ ュ ー ス

## 日本政治学会1997年度予算

### 〔一般会計〕

| 品 目            | 予算額        |
|----------------|------------|
| 収入             |            |
| 1. 前年度繰越金      | 4,829,735  |
| 2. 会費収入        | 9,860,000  |
| 3. 雑収入         | 5,000      |
| 収入合計           | 14,694,735 |
| 支出             |            |
| 1. 研究会開催費      | 1,100,000  |
| A. 研究会準備金      | 1,050,000  |
| B. 報告者礼金       | 50,000     |
| 2. 委員会経費       | 865,000    |
| A. 年報委員会       | 210,000    |
| B. 企画委員会       | 210,000    |
| C. 文献委員会       | 190,000    |
| D. 国際交流委員会     | 170,000    |
| E. 選挙管理委員会     | 35,000     |
| F. 五十周年記念企画委員会 | 50,000     |
| 3. 理事会経費       | 100,000    |
| 4. IPSA学会分担金   | 200,000    |
| 5. 事務局経費       | 1,110,000  |
| A. 理事長通信費      | 100,000    |
| B. 運営費         | 60,000     |
| C. 人件費         | 700,000    |
| D. 経常費         | 250,000    |
| 6. 名簿作成積立金     | 450,000    |
| 7. 国際交流基金へ積立   | 300,000    |
| 8. 選挙管理費       | 400,000    |
| 9. 会報発行費       | 650,000    |
| 10. 年報会計への繰出   | 4,500,000  |
| 11. 予備費        | 5,019,735  |
| 支出合計           | 14,694,735 |
| 差引             | 0          |

### 〔別会計〕

#### 名簿作成積立金

|           |         |
|-----------|---------|
| 収入        |         |
| 1. 前年度繰越金 | 506,360 |
| 2. 本年度積立金 | 450,000 |
| 3. 利息     | 700     |
| 収入合計      | 957,060 |
| 支出        |         |
| 1. 名簿作成費用 | 0       |
| 2. 予備費    | 0       |
| 支出合計      | 0       |
| 差引        | 957,060 |

#### 国際交流基金

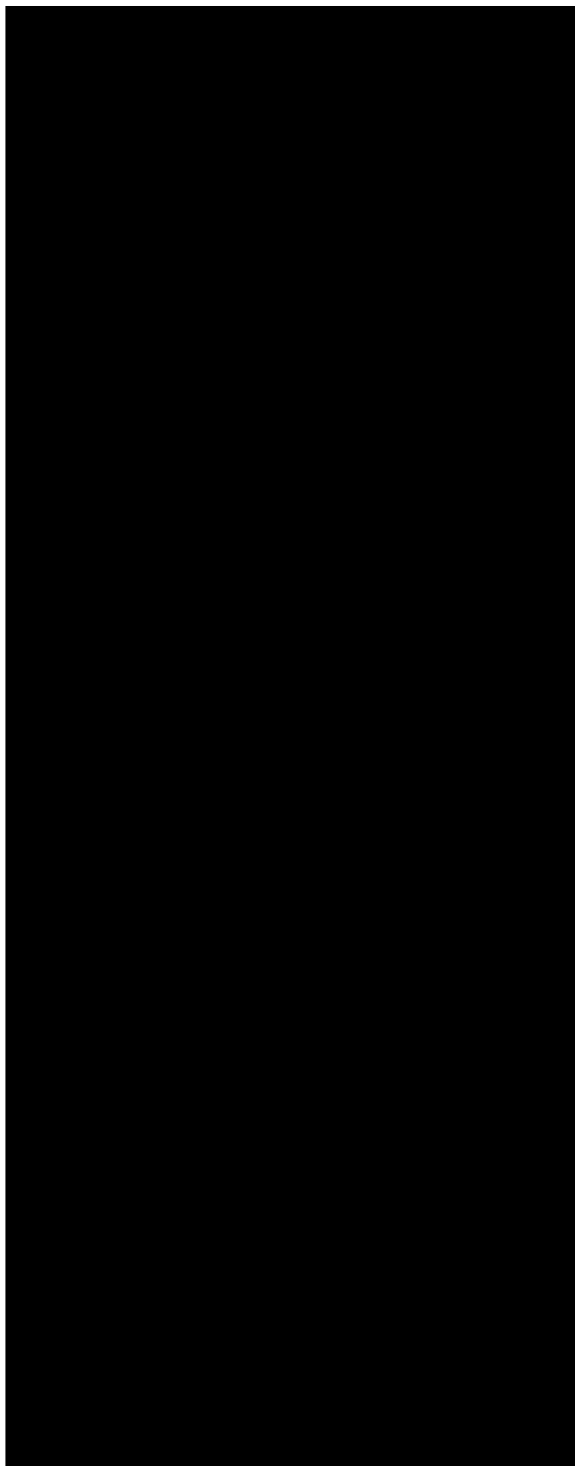
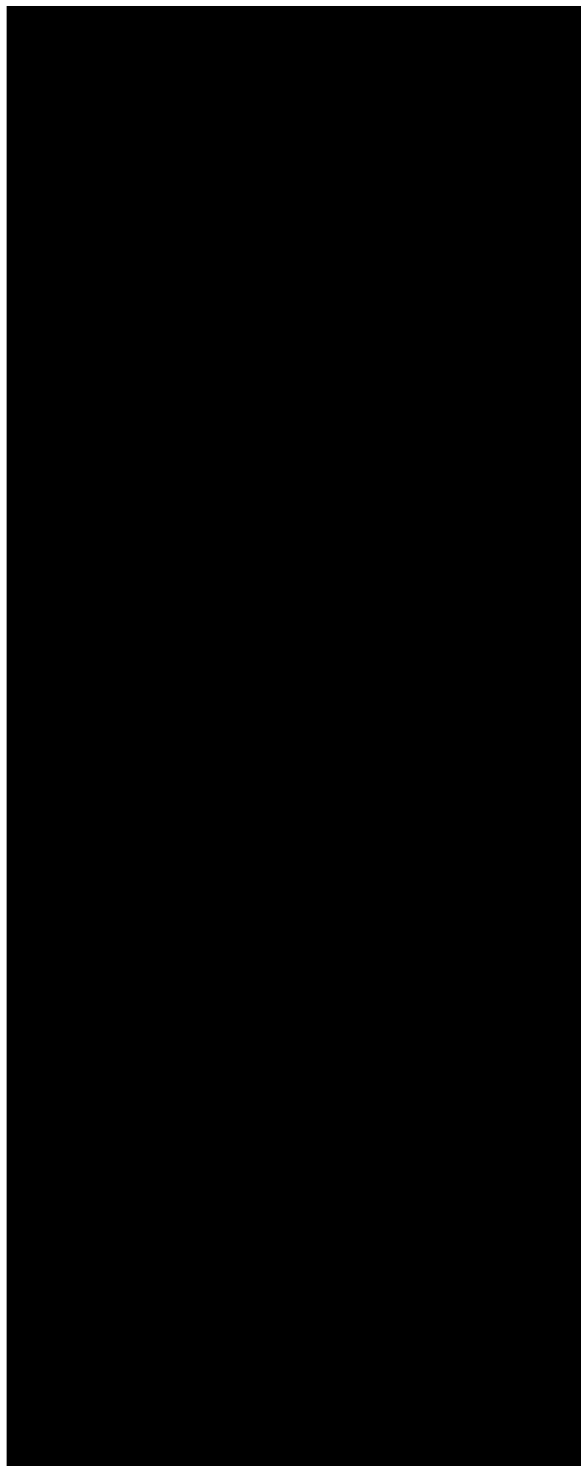
|           |            |
|-----------|------------|
| 収入        |            |
| 1. 前年度繰越金 | 21,070,523 |
| 2. 本年度積立金 | 300,000    |
| 3. 利息     | 226,000    |
| 収入合計      | 21,596,523 |
| 支出        |            |
| 1. 執行計画   | 300,000    |
| 2. 予備費    | 21,296,523 |
| 支出合計      | 21,596,523 |
| 差引        | 0          |

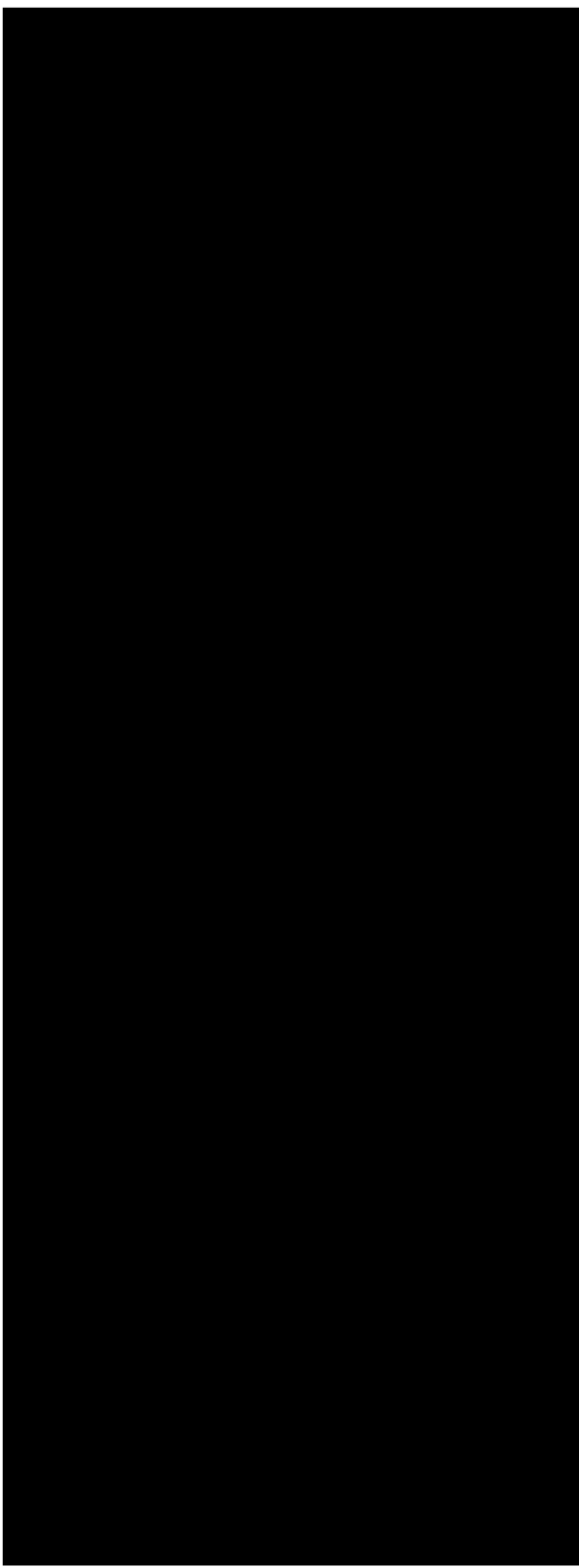
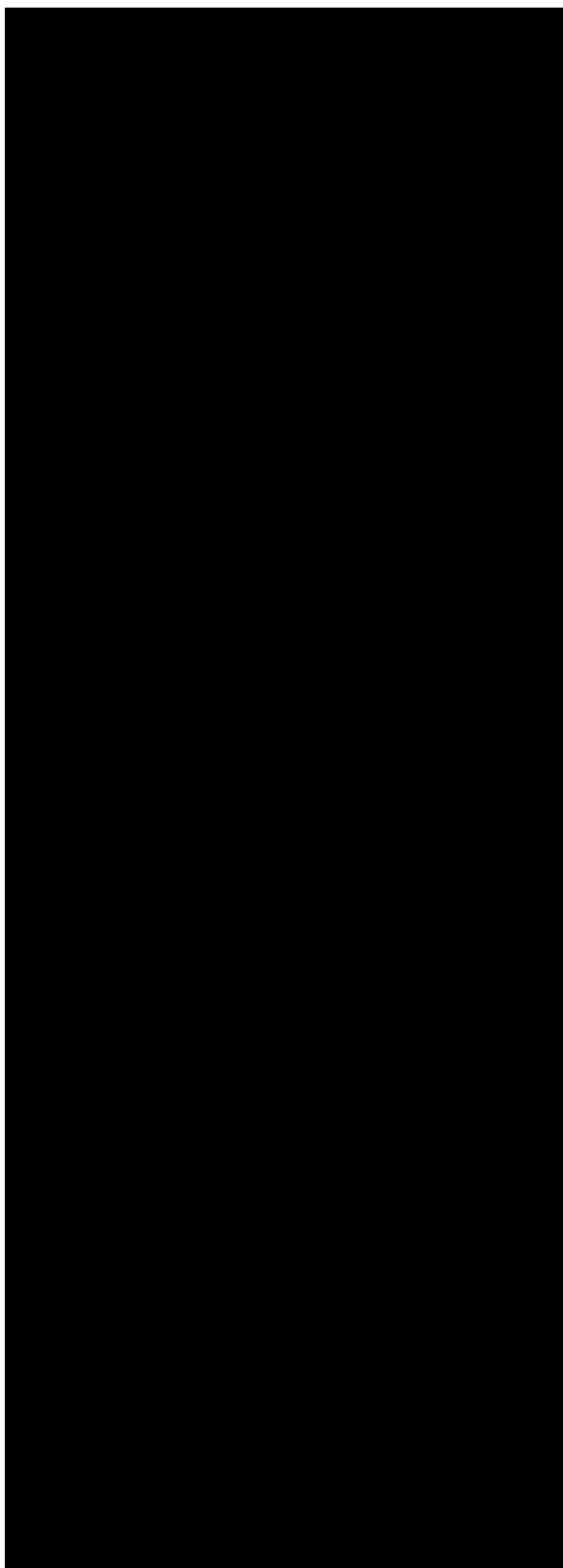
#### 年報会計

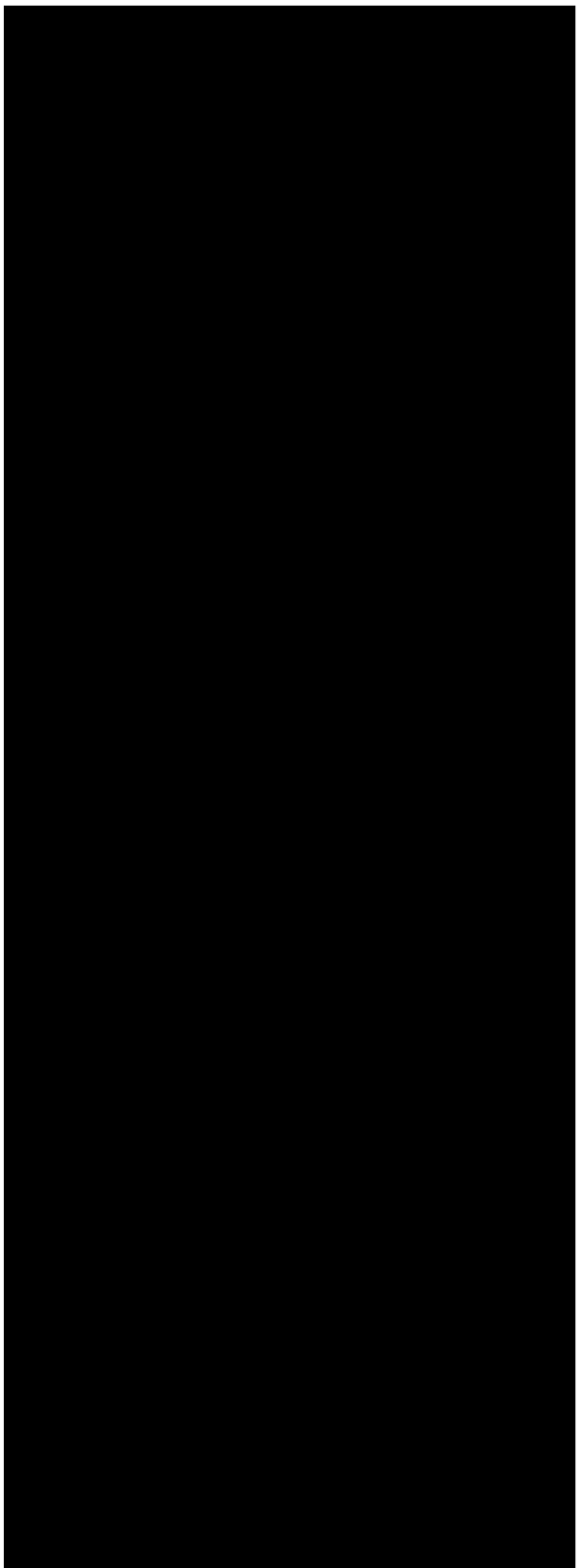
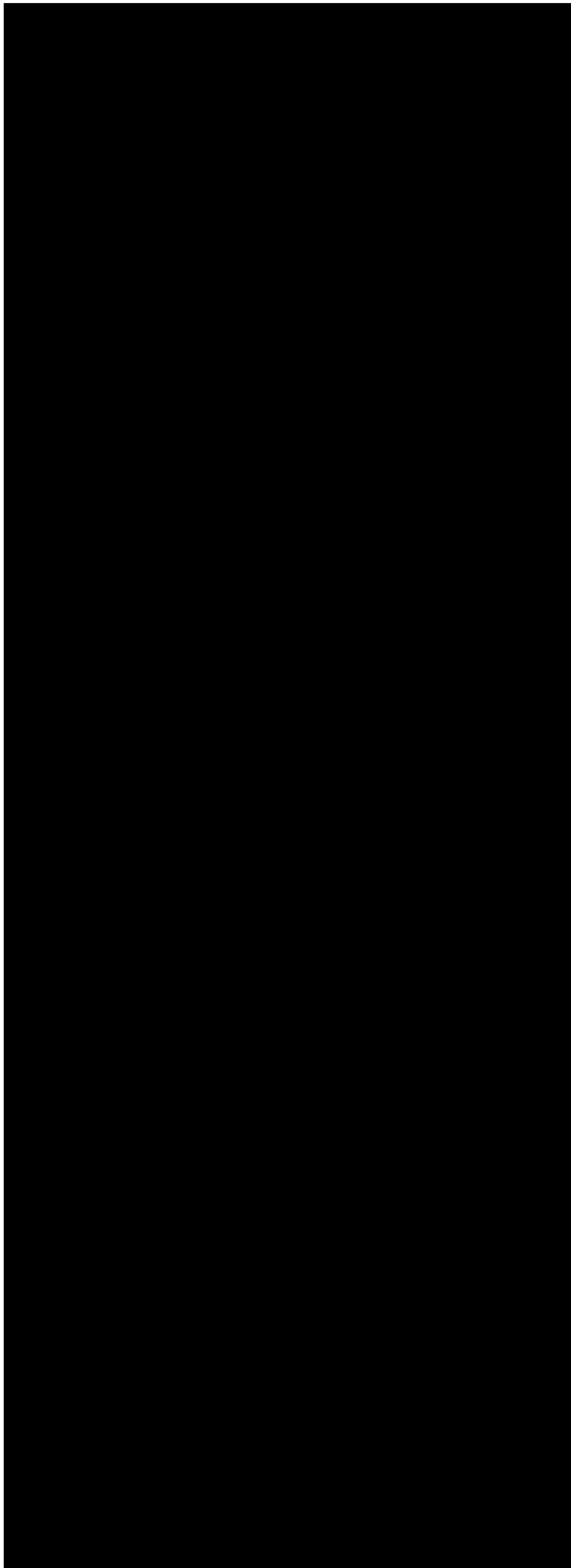
|           |           |
|-----------|-----------|
| 収入        |           |
| 1. 前年度繰越金 | 2,018,175 |
| 2. 一般会計から | 4,500,000 |
| 3. 利息     | 4,000     |
| 収入合計      | 6,522,175 |
| 支出        |           |
| 1. 年報費用   | 5,200,000 |
| 2. 予備費    | 1,322,175 |
| 支出合計      | 6,522,175 |
| 差引        | 0         |

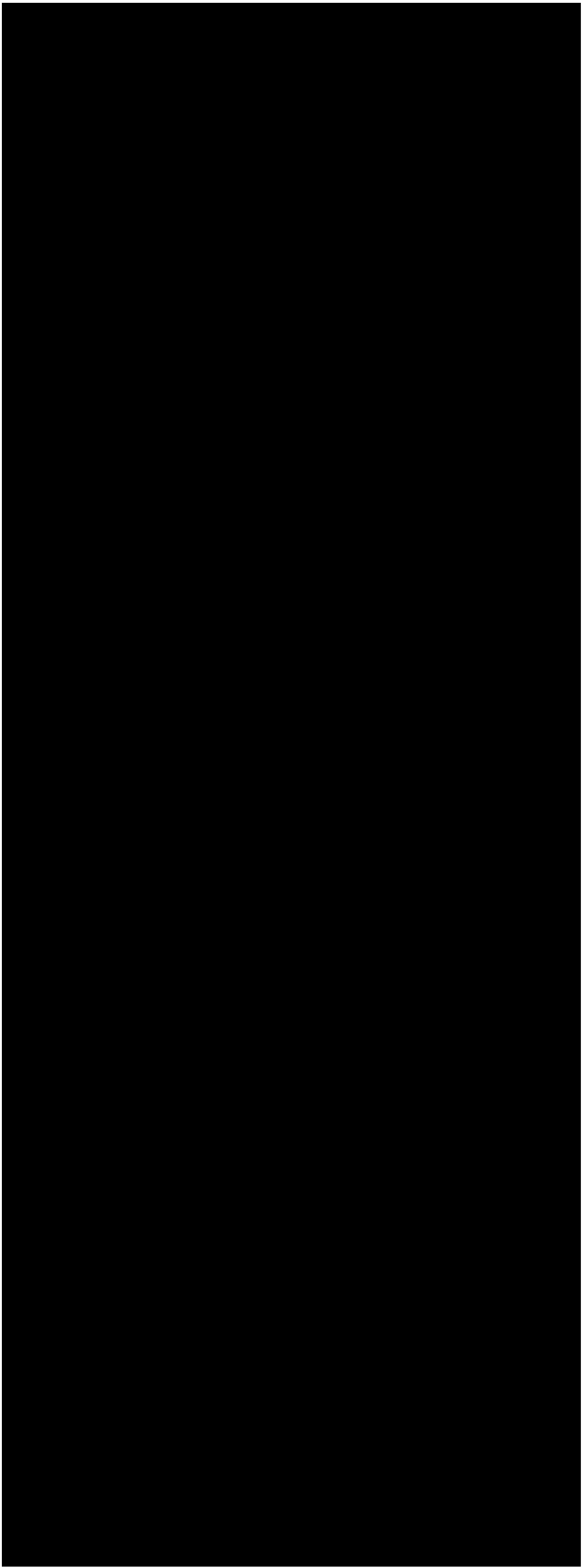
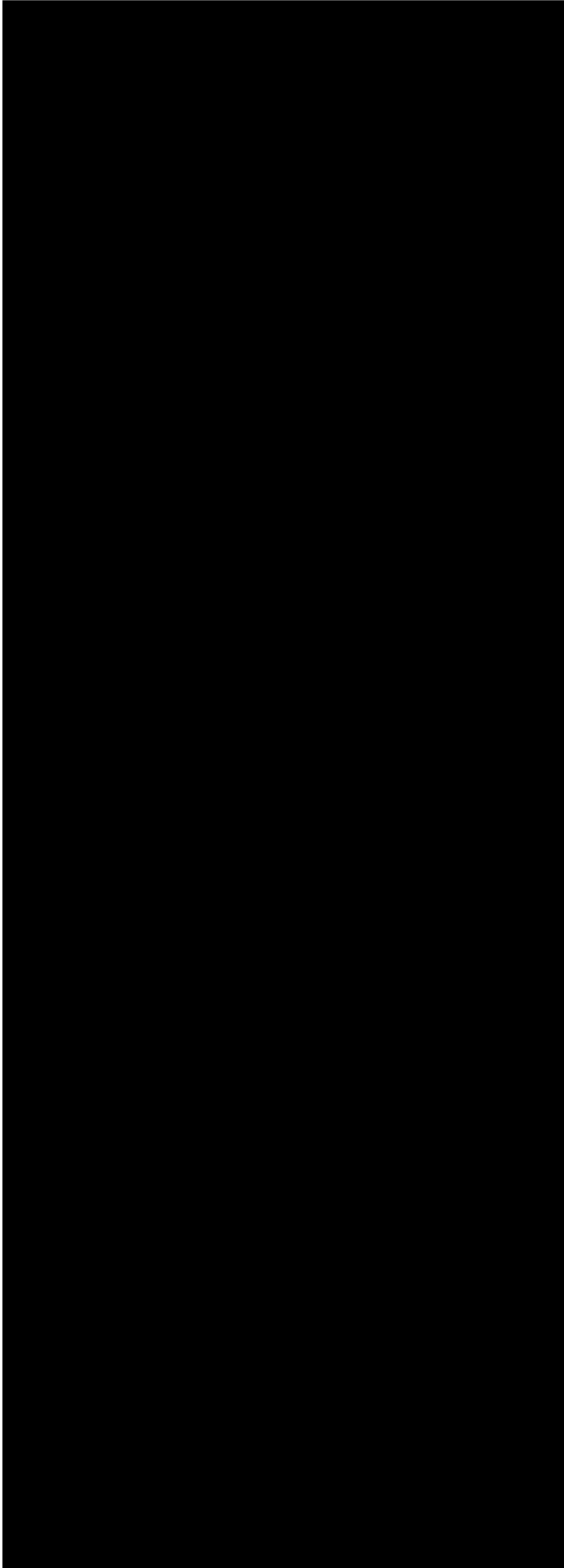


会員の異動 (1996.10.20~1997.5.7)









### ネパール政治学会からの交流申し入れ

ネパール政治学会 (Political Science association of Nepal=POLSAN) から日本政治学会理事長宛に、学术交流を求める手紙が届いております。国際交流委員長の判断で、広く会員にこの情報をお知らせし、具体的なプロジェクトの提案を待って対応を検討することとなりました。

ネパール政治学会は1990年7月に創立され、現在、ネパール各地方の研究者を中心に300名の規模があり、これまでに2つの大きな研究プロジェクトを遂行、40前後のセミナーを開催し、8刊行物を出版したとのことです。

国際的には、アメリカ政治学会、ドイツやデン

マークの学術機関とも交流があり、個別のプロジェクトに関しては、日本大使館はじめ、各国の機関からの援助を受けているとされています。

日本政治学会との交流に関しては、刊行物の交換や、研究者の往来、共同でのセミナー開催などが例示されていますが、具体的な提案ではないので、現在、先方の希望についてより詳しい回答を求めているところです。

会員の中で、ネパール政治学会との交流の希望があり、具体的な提案のある方は、大獄秀夫国際交流委員長まで、ご連絡いただきたく、広くお知らせする次第です。

## 事 務 局 よ り

### 会費納入についてのお願い

新年度に当たり、会費を同封の振込用紙にて、6月末日までにお支払いただきますようお願い申し上げます。

振込用紙には金額が記入してありませんので、一般会員は7,500円 大学院生は5,000円を記入のうえ御送金ください。念のため、この会報をお届けした封筒の宛名ラベルに、お振り込みいただくべき会費の金額が表示してあります。なお金額が大きくなっている方は、昨年度会費の滞納分が合算されておりますので、その表示通りお振り込み願います。

なお大学院生とは、後期博士課程の正規の学生のみで、研究生・学術振興会特別研究員などでは大学院生とは見なされませんので、御注意ください。またこの1年間に大学院生でなくなった方は、通信欄にその旨をお書き添えのうえ、一般会費を御送金ください。

### 事務局移転の御確認

前号にてお知らせいたしましたように、1996年10月19日より、日本政治学会の事務局は東京大学へ移転しております。お問い合わせなどの節は、お間違えのないよう、巻末記載の事務局へお願い申し上げます。

### 本号の目次

1. 蒲島郁夫 IPSAソウル大会について… 1
2. 97年度研究会プログラム…………… 2
3. 理事会記録…………… 4
4. 1996年度決算…………… 7
5. 1997年度予算…………… 8
6. 会員の異動…………… 9
7. 事務局より…………… 14

### 訃 報

下記の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

鴨 武彦氏 (東京大学教授) 1942年生 国際政治理論・国際統合論専攻

公平 慎策氏 (杏林大学教授) 1936年生 政治意識論・選挙分析・投票行動論専攻

竹村 英輔氏 (日本福祉大学教授) 1931年生 イタリア現代政治史・社会思想史専攻

中島 昭三氏 1928年生 日本政治史専攻

岸本 弘一氏 (麗澤大学教授) 1928年生 現代政治・現代政治史専攻

1997年5月28日

発行 日本政治学会事務局

馬 場 康 雄

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学法学部研究室内

TEL 03-3812-2111(内)3231

FAX 03-3816-7375

(お問い合わせはできるだけFAXで)

郵便振替番号 00100-8-84250

加入者名 日本政治学会

印刷 刷 望月印刷(株)